
前回運営協議会等における御意見・御要望を 踏まえた対応状況

平成29年9月15日

沖縄振興開発金融公庫

前回運営協議会等における御意見・御要望を踏まえた対応状況

◆ 県と公庫が連携をとりながら、ひとり親、あるいはまた子供の貧困対策をとっているか、ぜひとも連携を密にして実効性のある対策をとっていただきたい。

【ひとり親支援・子供の貧困対策に向けた連携】

● 融資第二部に「ひとり親関連融資制度相談窓口」を設置し、「ひとり親支援業務」担当(ワンストップサービス)を配置

⇒ 公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会が開所している「沖縄県マザーズスクエアゆいはあと」に配布用チラシ「ひとり親関連制度のご案内」を備え置き

⇒ 県内において活動を行っている関係機関を訪問し、制度説明を実施

- ・ 沖縄県マザーズスクエア ゆいはあと
- ・ Okinawan GIRLS(オキナワンガールズ)
- ・ 沖縄子ども貧困解消ネットワーク
- ・ 女性起業家支援組織 ガールズスクエア
- ・ しんぐるまざあず・ふぉーらむ

⇒ 「ゆいはあと」や「ガールズスクエア」主催の説明会等に参加し、制度説明を実施

- ・ 浦添市内企業向けひとり親就職サポート説明会にて制度周知
- ・ 北谷町内企業向けひとり親就職サポート説明会にてパンフレット配布
- ・ 女性起業応援セミナーにて制度周知

前回運営協議会等における御意見・御要望を踏まえた対応状況

〔参考〕ひとり親支援関連融資制度の実績(平成28年4月～平成29年8月末)

個人向け融資制度(教育資金)

(1)教育ひとり親利率特例【平成28年度～】

ひとり親家庭の親自身の学び直し(就労に向けたスキルアップ)を支援するため、貸付利率を優遇(教育一般資金貸付利率▲1.3%)

【融資実績】14件、11百万円

(2)教育母子・父子家庭特例

母子・父子家庭の子の大学等における修学に必要な資金の貸付けに関し、貸付利率を優遇(教育一般資金貸付利率▲0.4%)

【融資実績】771件、864百万円

事業者向け融資制度

(1)沖縄ひとり親雇用等促進貸付利率特例制度【平成28年度～】

ひとり親家庭の親の雇用や雇用形態の安定等に積極的に取り組む事業者を支援するため、貸付利率を優遇

【融資実績】29件、1,922百万円

(2)沖縄創業者等支援貸付(ひとり親創業関連)【平成29年度～】

ひとり親家庭の親の方で新規開業する方(開業後概ね7年以内を含む。)に対し、優遇利率(特別利率)により貸付けを実施

【融資実績】20件、73百万円

平成29年9月8日
記者発表資料

記者発表

沖縄公庫、ゴールドa x 株式会社に資本性ローンを実行
～ ひとり親の創業を支援する資本性ローンを初適用 ～

沖縄振興開発金融公庫(理事長:川上好久)は、ひとり親の創業を支援するため、ゴールドa x (ゴールドアクセス)株式会社(那覇市、代表者:池宮城聡、平成29年1月設立、資本金6百万円)に対し、沖縄創業者等支援貸付を適用し、1,400万円の融資を実施しました。このうち500万円については、平成29年度より拡充された、ひとり親の創業を支援する挑戦支援資本強化特例制度(以下「資本性ローン」)を初適用しました。

当社事業の概要

ゴールドa x株式会社は、光ファイバー回線の加入代行を行うインターネット通信サービス事業者です。代表者の池宮城氏はご自身と同じ環境にあるひとり親の長期雇用及び人材育成を図るため、柔軟な勤務シフト管理体制や出退勤時の送迎サービスの整備に取り組む方針です。

今次融資による効果

今回の融資は、創業段階の従業員採用にかかる運転資金および職場環境等の整備資金に充当することを目的としています。

当公庫は、当社の事業がひとり親家庭の親の創業にかかるものであること、加えてひとり親の長期的雇用及び人材育成に取り組む方針を評価して本制度を適用し、融資を実行しています。また、資本性ローンとすることにより、当社の財務基盤を強固なものとし、資金繰りの円滑化が図られるものと期待しています。

資本性ローンの特徴

資本性ローンは、創業・新事業展開や事業再生等に取り組む中小企業・小規模事業者の財務体質の強化を図るために、資本性資金を供給する制度です。貸付条件については、期限一括償還による返済となり、また担保・保証人については無担保無保証となります。加えて、本制度を適用した債務は、金融検査上、自己資本とみなすことが出来るため、過少資本が解消され、信用力の向上が可能となります。

当公庫は、沖縄県における子供の貧困対策・ひとり親家庭の支援を総合的に推進する一環として、平成29年度からは資本性ローンの適用対象制度に沖縄創業者等支援貸付を追加し、本件のようなひとり親家庭の親の新規開業のほか、雇用創出を伴う事業の新規開業を支援しています。

本制度の詳細については、当公庫ホームページ(<http://www.okinawakouko.go.jp/>)でもご覧いただけます。当公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも本融資制度等を活用し、外部機関とも連携を図りつつ、地域経済の活性化や地域振興に資する事業を積極的にサポートしてまいります。

挑戦支援資本強化特例制度(資本性ローン)の条件による利用も可。
【平成29年度～】

前回運営協議会等における御意見・御要望を踏まえた対応状況

- ◆ 公庫は民間事業者が使うものではなく、住宅ローンや公共工事など公的なもので使うというイメージを持っていた。(中略)ただ知らなかったということで、広く広報すべき。
- ◆ 公庫が持っている個人向けの制度について、一般の方には十分知られておらず、例えば子供の貧困に関する支援を行っていたとしても、対象の制度があることを知らず、これまで相談者に公庫を紹介したことはなかった。

【広報活動等の強化に向けた取組】

- ・ 公庫HPにてひとり親支援に係る制度拡充を紹介
- ・ ひとり親支援制度等の広報ポスターを作成し、関係機関等へ配布
- ・ 広報誌「櫓舵(ルカジ)」(第3号)を発刊
⇒ 県内中小企業・小規模事業者における景況感や県経済の課題等についての対談記事等を掲載し、関係機関や取引先へ配布するとともに、公庫HPにも掲載。
- ・ 支店の店頭にて教育資金ののぼりを設置
- ・ 各資金の制度パンフレット(全6種類)に新たにQRコードを導入し、公庫HPへ誘導
- ・ 出融資事例等を公表(記者発表)することにより、公庫の機能や具体的な取り組み等を積極的に発信



前回運営協議会等における御意見・御要望を踏まえた対応状況

◆ 公庫の事業性評価のレベルは高い。ただ、資金面の支援だけではなく、出資後の継続的な経営戦略のフォローとか、業務パートナーのマッチングといったコンサル的な業務を提供していただければありがたい。

◆ 可能性のあるベンチャーなどに対し、有益な情報提供を行うとともに、情報を交換し、ともに学ぶ環境を提供していただきたい。

【コンサルティング機能の拡充に向けた取組】

ひとり親、子供の貧困対策に関するワンストップサービスの実施

・ 融資第二部に「ひとり親関連融資制度相談窓口」を設置し、「ひとり親支援業務」担当（ワンストップサービス）を配置【再掲】 ⇒ 必要に応じて関係機関の紹介等も実施。

中堅・中小企業、小規模事業者の持続的な成長、発展のために

(1) 「TKC九州会」との覚書締結（平成29年6月14日）

⇒ 県内中堅・中小事業者の持続的な成長及び地域社会の発展を目的に、「中堅・中小企業の持続的成長支援に関する覚書」を締結。中堅・中小企業の様々な課題に連携して支援を実施。

(2) 「沖縄県産業振興公社」との業務提携に関する覚書締結（平成29年6月30日）

⇒ 「沖縄県よろず支援拠点」等の活用を目的に、「中小企業・小規模事業者等の支援に係る業務提携に関する覚書」を締結。必要に応じて公庫顧客を沖縄県よろず支援拠点へと誘導し、経営課題の解決についてアドバイスを得る等、連携して支援を実施。

⇒ 活用事例について公庫内部で共有し、顧客サービス向上に努めている。